

日本の道づくりと ともに歩んだ80年

当社は、日本舗道株式会社として設立されて以来、2014年に80周年を迎えました。
このページでは、当社80年の歴史とそれぞれの時代に開発・施工された技術や事業例をご紹介します。
当社はこれからも企業理念である「『確かなものづくり』を通して豊かな社会の実現に貢献する」をCSRの根幹とし、あくなき挑戦と誠実な企業活動をもって皆様の信頼に応えていきます。

道路舗装の本格化と 日本舗道株式会社の設立



震災復興を果たした京葉国道(品川駅付近)

1919年の道路法制定と1923年の関東大震災を機に、東京を中心に都市道路が整備され、日本における道路舗装が本格化しました。
昭和に入り、アスファルト舗装が急速に広がる中、日本石油(株)道路部と浅野物産(株)道路部が合同し、日本舗道株式会社(株)が1934年に設立されました。日本舗道(株)は豊富な実績と技術を背景に海外でも活躍しましたが、太平洋戦争が始まると、一般道路への舗装は中断され、空襲などにより国土の荒廃も進みました。

建設大臣登録、株式上場 戦後の復興に貢献



雨でぬかるみ車を押して進む当時の道路

終戦後、荒廃した道路の修復が始まります。1948年に建設省が誕生すると、復興のために政府が本格的な道路整備に乗り出します。
当社も「国土の復興には、道路の修復が第一」という決意をもって主要道路の改修に着手し、まともな資材や施工機械がない中、アスファルト代替資材の開発が功を奏し、業界に先駆けて京浜地区の舗装工事を実施しました。その後、名古屋、大阪、仙台でも、業界の先頭を切って道路工事に着手します。

高速道路時代の幕開け 高度経済成長を支える



日本で初めての高速道路(名神山科工区)

高度経済成長期になり、自動車の数が急増する中、1957年に日本で初めての高速道路となる「名神高速道路」の建設が始まりました。当社は、その歴史的第一歩となる京都市山科の試験工区を1961年に無事に完成させました。
また、自動車産業が興隆し、テストコースが建設されました。高速周回路の傾斜面舗装技術は海外からも高く評価され、国内外の自動車メーカーから引き合いを受けています。

オイルショックを契機に 省資源・リサイクルを追求



リサイクルプラント試作機(千葉合材工場設置)

1973年と1979年のオイルショックを契機に、資源を浪費していた高度成長期は終わりを告げ、省資源・省エネルギーの時代を迎えます。また、高度成長の負の遺産として、公害問題や廃棄物処理の問題が大きくクローズアップされました。こうした中、当社はアスファルト舗装材の再生利用と他産業副産物のリサイクル利用や路床・路盤の安定処理などの技術開発を推進し、1976年にはリサイクルプラントの稼働を開始しました。

舗装技術の多様化 交通安全・ スポーツ施設への取り組み



サーキットコース(鈴鹿サーキット)

1980年代に入ると道路利用者のニーズはますます多様化し、交通安全や景観への対応も求められるようになりました。排水性舗装「パーピラス」・凍結抑制舗装「ゴムロール」などの交通安全に寄与する舗装技術も開発され広く普及しました。また、暮らしが豊かになり、スポーツ・レジャーブームが到来します。当社の舗装技術は、陸上競技場やテニスコート、サーキットコースなどにも活かされ、歓声が湧き、感動が生まれる空間づくりに貢献しています。

環境にやさしく災害に強い 道づくり・まちづくりへの参画



遮熱性舗装(沖縄市胡屋交差点)

当社は脈々と受け継いできた国内舗装事業を中核としながらも、現在は建築事業、開発・不動産事業、海外事業など「道づくり」・「まちづくり」に関わる様々な事業を展開しています。
また、防災・減災技術や環境技術の研究開発にも努め、太陽光の蓄熱を抑える遮熱性舗装「パーフェクトクール」は2011年に世界道路協会主催の「最優秀技術革新賞」を日本企業として初めて受賞し「技術のNIPPO」の名を世界中に轟かせました。

~1934年

1949年

1960年代

1970年代

1980年代

2000年代~

1924年▼米国特許技術「ワイビット工法」の施工権を取得。本工法によって明治神宮外苑道路などの舗装が行われ、以降全国的に普及
1907年▼中外アスファルト株式会社の設立(日本舗道の前身)

1934年▼日本舗道株式会社を設立(資本金一〇〇万円・従業員二三名)

1945年▼終戦により在外資産を喪失国内を営業区域として再出発

1949年▼総合建設業者として建設大臣登録建設会社として初めて東京証券取引所に株式上場

1953年▼アスファルト・フィニッシャを国内初導入。舗装施工を機械化

1957年▼国内初のアスファルト・ライニング工法を施工

1963年▼現在地に本社社屋落成

1965年▼特許常温合材「レミファルト」の製造販売を開始

1969年▼合材部新設。合材販売に本格的に乗り出す

1970年▼当社の株式、東証で信用銘柄の指定を受ける

1973年▼全天候型テニスコート「パーフェクトコート」開発

1976年▼リサイクルプラント開設、横浜市で稼働開始

1977年▼路上路盤再生工法「FRB工法」開発

1988年▼排水性アスファルト舗装「パーピラス」を開発

1994年▼企業理念・行動指針を制定

1997年▼関東第一支店で道路業界初の「ISO9001」認証取得

2002年▼遮熱性舗装「クールパーピラス」販売開始

2003年▼保水性舗装「クールポリシール」販売開始

2004年▼本社「ISO14001」認証取得

2008年▼遮熱性舗装が「2008世界道路功績賞」を受賞

2009年▼商号を「株式会社NIPPO」へ変更

2011年▼地震対策型段差抑制工法「HRB工法」を開発